

二級河川山田川水系
河川整備計画(素案)について
【参考資料】

令和6年3月

和歌山県

二級河川山田川水系 河川整備計画(素案)

1. 流域及び河川の概要

2. 河川整備の現状と課題

- (1) 洪水等による災害の防止又は軽減に関する現状と課題
- (2) 河川の適正な利用及び流水の正常な機能に関する現状と課題
- (3) 河川環境の現状と課題
- (4) 河川維持管理の現状と課題

3. 河川整備計画の目標に関する事項

- (1) 基本的な考え方
- (2) 計画対象区間
- (3) 計画対象期間
- (4) 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
- (5) 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標
- (6) 河川環境の整備と保全に関する目標

4. 河川の整備の実施に関する事項

- (1) 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要
 - ① 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項
 - ② 河川環境の整備と保全に関する事項
- (2) 河川の維持の目的、種類及び施行の場所
 - ① 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項
 - ② 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項
 - ③ 河川環境の整備と保全に関する事項

5. その他河川整備を総合的に行うために必要な事項

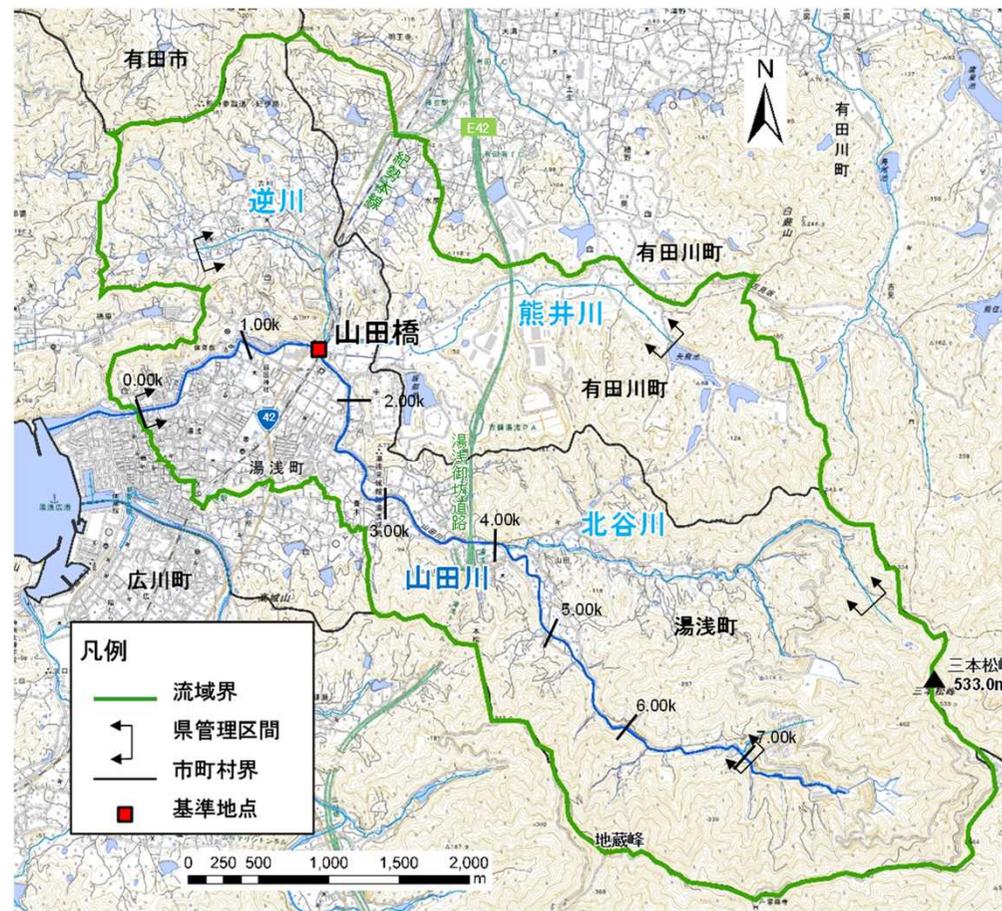
流域及び河川の概要

○流域図

- 幹川流路延長: 約9km 流域面積: 約19km²
- 流域は湯浅町と有田川町から構成



位置図

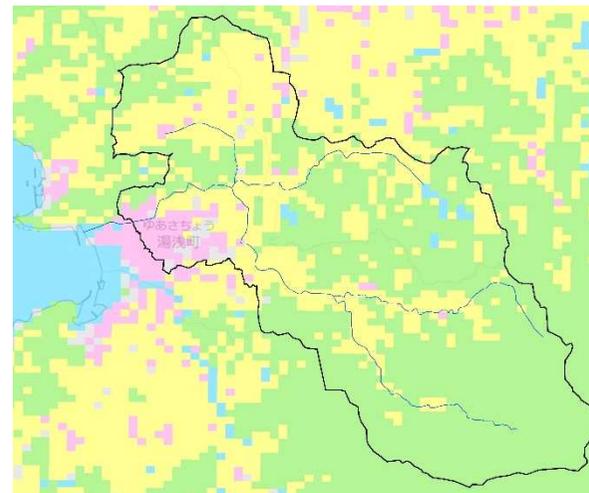
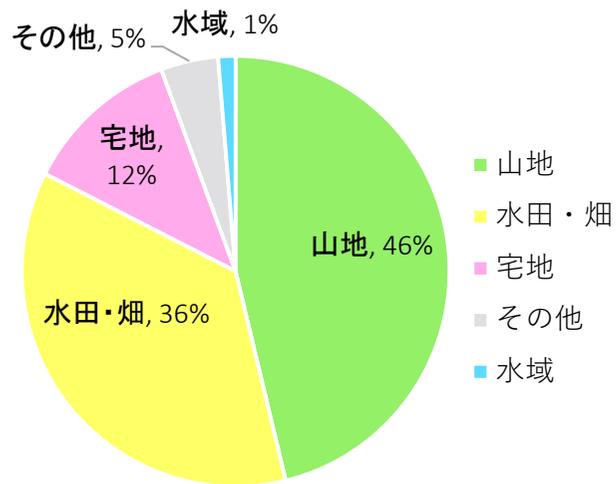


流域図

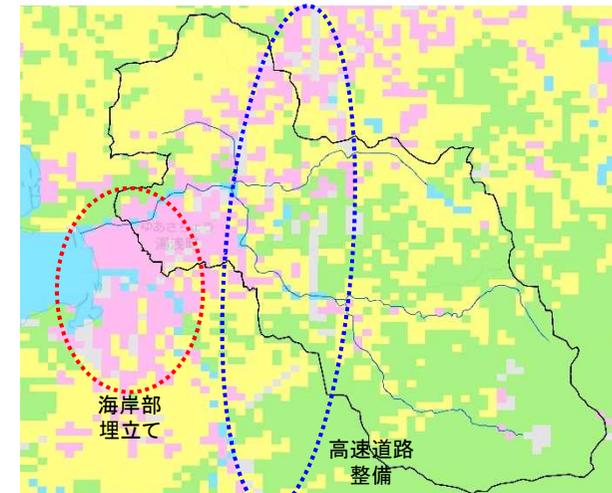
流域及び河川の概要

○流域の土地利用

- 山地が46%、水田・畑地が約36%、宅地が約12%
- 昭和51年(1976年)から令和3年(2021年)の間に、山地が減少し、宅地が増加



昭和51年(1976年)



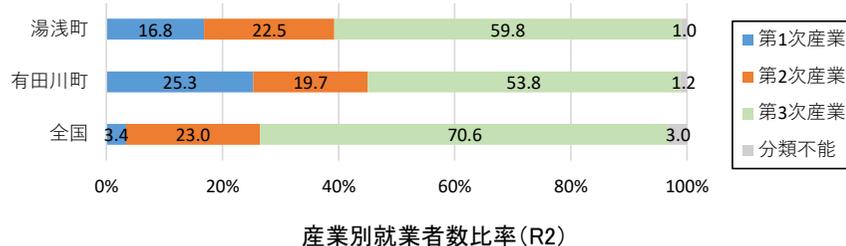
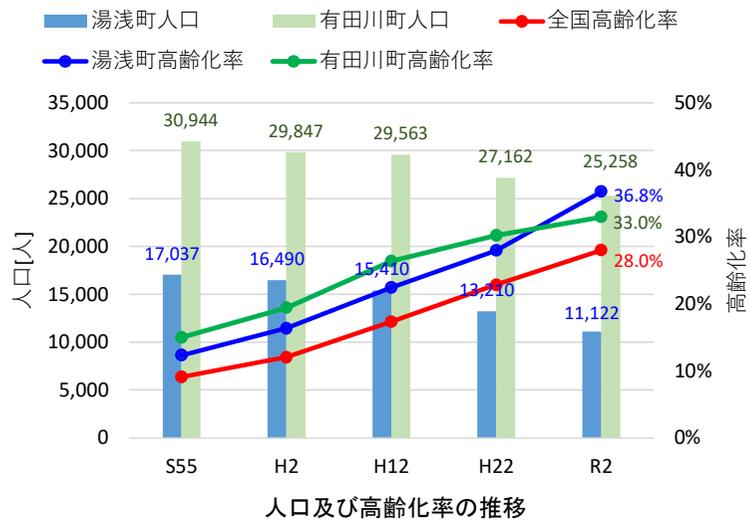
令和3年(2021年)

土地利用区分図(出典:国土数値情報【土地利用メッシュ】)

流域及び河川の概要

○流域の社会環境

- 流域内の人口は約8,000人
- 湯浅町および有田川町の人口はいずれも減少傾向であり、高齢化が進行
- 産業別就業者数の割合は、湯浅町では、第一次産業が約17%、第二次産業が約23%、第三次産業約60%、有田川町では、第一次産業が約25%、第二次産業が約20%、第三次産業が約54%



【みかん】



【伝建地区】



【しらす】



【醤油発祥の地】

写真提供: 湯浅町

流域及び河川の概要

○流域の歴史・文化

- 伝統的建造物群保存地区（伝建地区）
- 日本遺産「最初の一滴」 醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅

写真提供：湯浅町



【山田川河口と大仙堀（下流側から撮影）】



【格子戸・虫籠窓】



【醤油醸造】



【山田川位置図（下流）】

- 熊野古道

【道標】

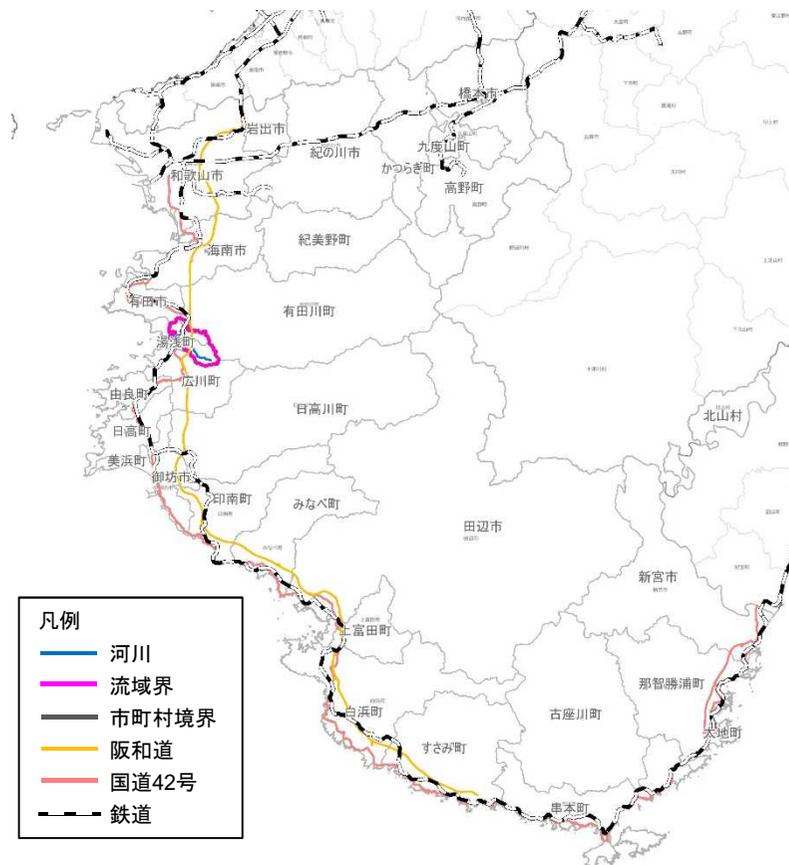


【北栄橋】

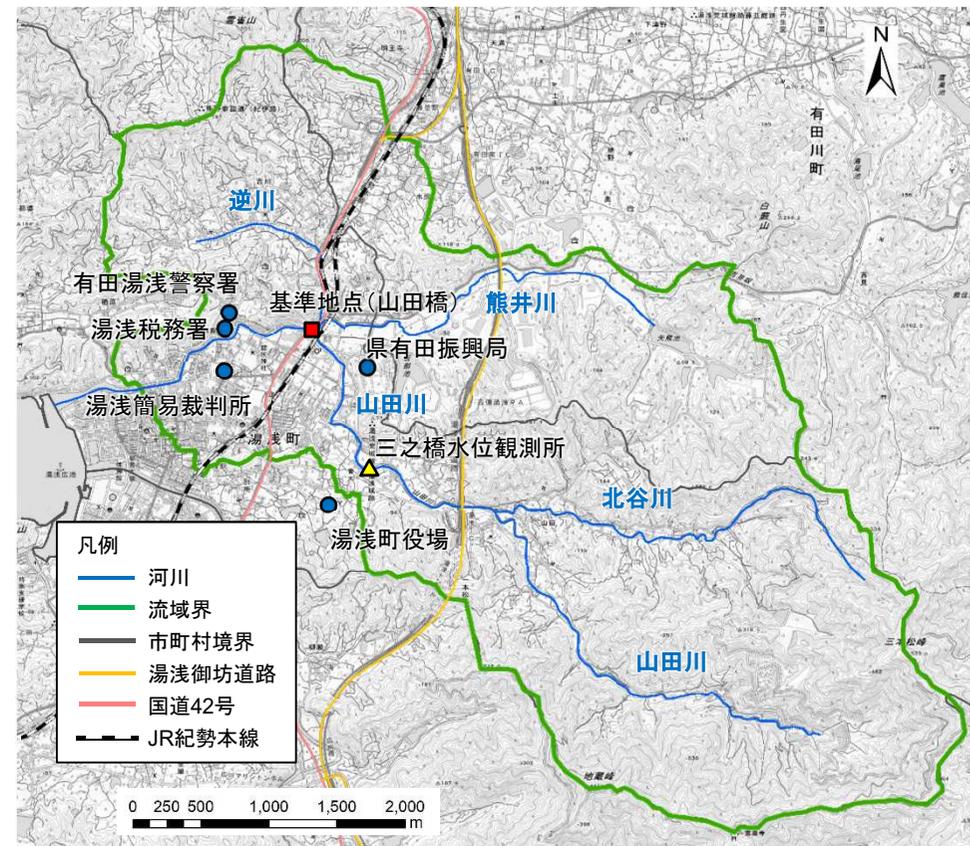
流域及び河川の概要

○流域の交通等

- 中流域から下流域には、行政機関や公共施設が集積
- 湯浅御坊道路や国道42号、JR紀勢本線等が山田川と交差する形で流域を南北に縦貫するなど重要な交通施設が立地



県域図

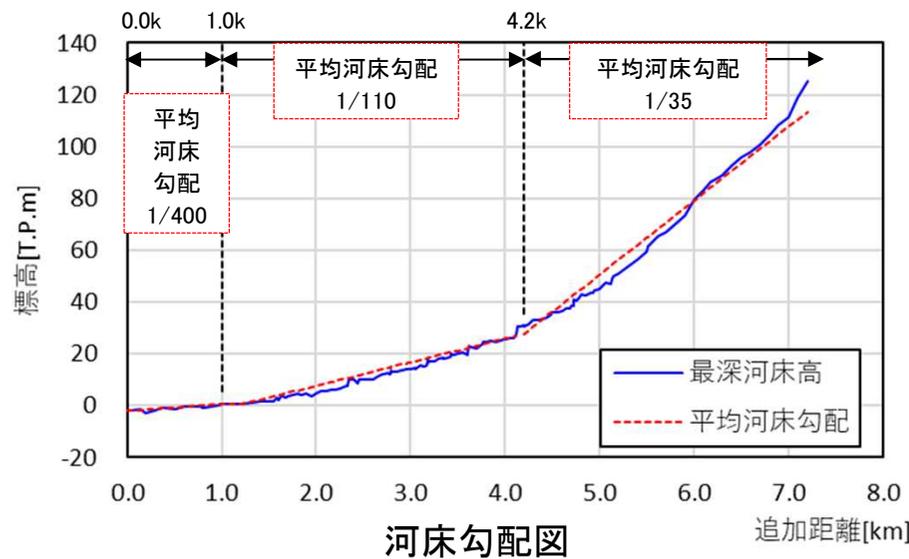


流域の交通ネットワーク

流域及び河川の概要

○流域の地形・河道特性

- 三本松峰、地蔵峰に代表される標高400m～500m程度の山地を流域の南東に有し、上流から中流にかけて谷底平野が、下流には海岸平野が形成
- 河床勾配は、上流で1/35程度、中流で1/110程度、下流で1/400程度

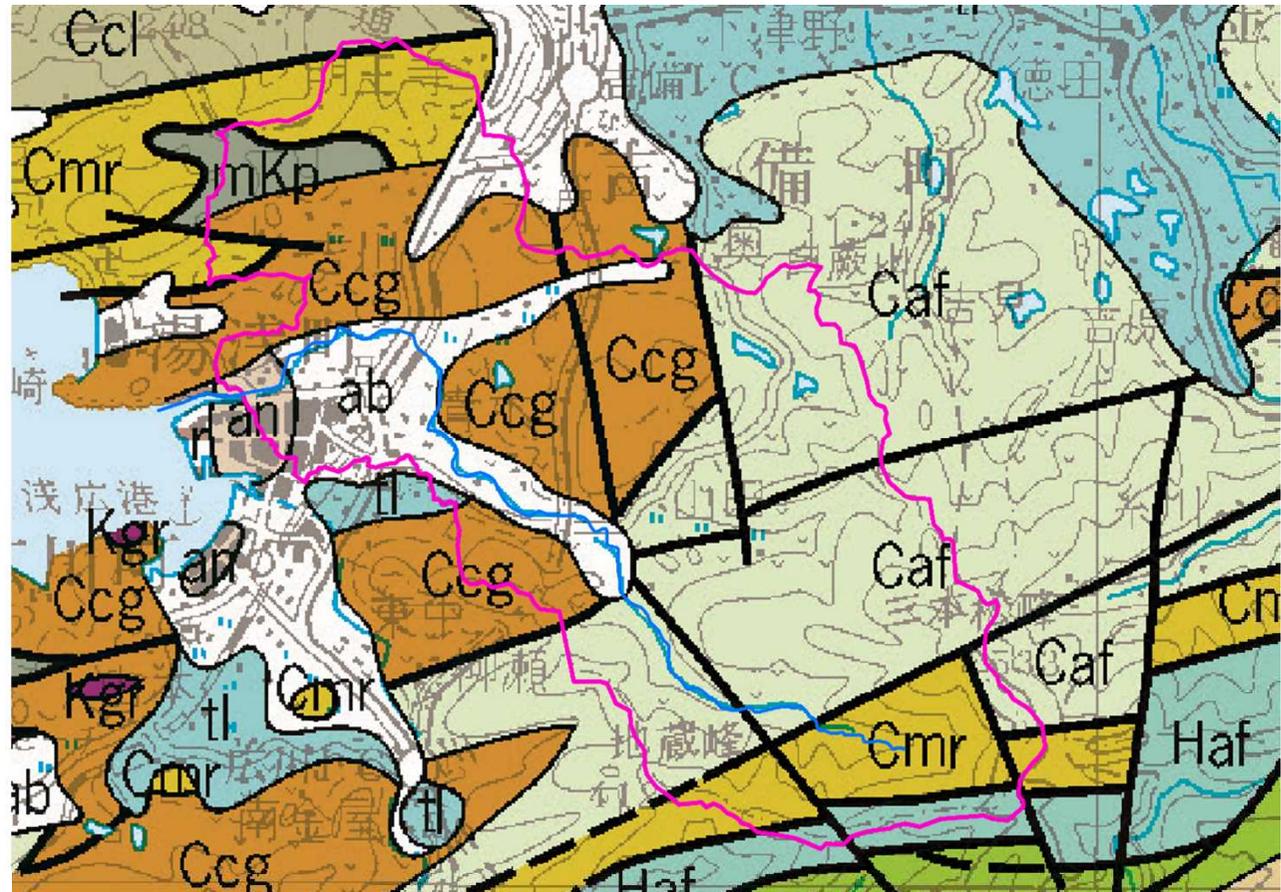


流域及び河川の概要

○流域の地質

- 外和泉層群・物部川層群を主体とし、主に砂岩・泥岩互層・泥岩、礫岩、砂岩から構成
- 山田川沿いには、主に砂・泥がみられる

【秩父累帯】	
Ccl	砂岩・泥岩互層・チャート (チャート-砂岩シークエンス)
Cmr	泥岩基質中に砂岩・チャート (石灰岩、緑色岩などの岩塊を伴う泥岩(メランジュ))
mkp	砂質片岩・泥質片岩
Kgr	花崗岩質岩・高度変成岩類
【四万十帯・日高川層群】	
Haf	砂岩・泥岩互層
【外和泉層群・物部川層群】	
Caf	砂岩・泥岩互層・泥岩 (前弧海盆堆積層)
Ccg	礫岩・砂岩 (前弧海盆堆積層)
【その他】	
ab	砂・泥
an	礫・砂
tl	礫・砂・泥

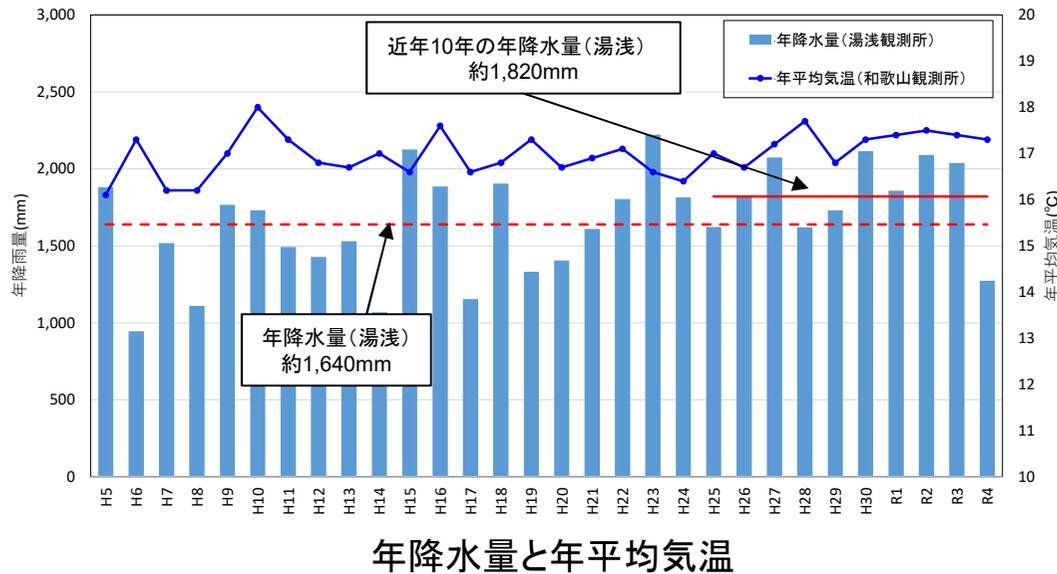


流域の地質(出典:近畿地方土木地質図)

流域及び河川の概要

○流域の気候

- 瀬戸内気候区と南海気候区の中間に位置し、年平均気温は約17°C(和歌山)
- 近年の年降水量は約1,820mm(湯浅)



※「和歌山の河川」より

年降水量の分布図

流域及び河川の概要

○流域の生態系

- 令和4年度 山田川で環境調査を実施、春～夏、秋～冬の2シーズンを中心として、通年で調査し、多数の種目を確認

- 魚 類 : ドジョウ(NT,DD)、ミナミメダカ(VU,VU)、シロウオ(VU,CR+EN)
- 底生動物 : カノコガイ(SI)、ハマガニ(NT)、ヒメヒライソモドキ(NT)
- 鳥 類 : アオサギ、カワセミ、メジロ
- 植 物 : アラカシ、ツルヨシ、アコウ(NT) 等 多数の種目を確認

【環境省レッドリスト 2020(下線なし)】:EX(絶滅)、EW(野生絶滅)、CR+EN(絶滅危惧 I 類)、CR(絶滅危惧 I A 類)、EN(絶滅危惧 I B 類)、VU(絶滅危惧 II 類)、NT(準絶滅危惧)、DD(情報不足)、LP(絶滅のおそれのある地域個体群)

【和歌山県レッドリスト 2022(下線あり)】:EN(絶滅)、CR+EN(絶滅危惧 I 類)、CR(絶滅危惧 I A 類)、EN(絶滅危惧 I B 類)、VU(絶滅危惧 II 類)、NT(準絶滅危惧)、DD(情報不足)、SI(学術的重要)



【シロウオ】



【ハマガニ】



【メジロ】



【アコウ】

- 自然環境の重要性を示すため、レッドデータブックにおける重要種の評価を河川整備計画に掲載
- 調査結果は、今後の河川整備・維持管理におけるデータベースとして活用